

安心と笑顔の旅を約束します♪

笑うことや悲しむこと、食べることに恋すること——。人生はいろいろと忙しい。なかでも自己の成長や生き方に直結する「仕事」は人生における一大テーマです。戦いのない江戸時代、経済活動が盛んになり人々の暮らしは画期的に安定します。街道の整備によって物流や旅の往来も活発化し、そこで活躍したのが街道筋に生きる仕事人たちでした。

本展では歌川広重の絵画世界から、ひきやく 飛脚やかわごしにんそく 川越人足、あんな 関所役人、あんま 按摩など、旅路の仕事人たちを一挙紹介します。より良い暮らしのために互いを信じて助け合い、たくま 逞しく生きる姿には、現代人の疲れた心を解放できるヒントがいっぱいです。

ほとばし

迸る生命力、弾ける玉汗！旅路の仕事人、今夏必見！



見どころ

- 1) 馬や船など街道の物流を担う男たちの仕事とは？
- 2) 誰よりも早く！街道を走り抜ける飛脚を解説
- 3) 旅のお供、酒。江戸では下り物の酒が大人気！江戸時代の銘酒を紹介

運ぶ

駆け抜ける運び屋

物を運び、人と人を結ぶ「運び屋」は、街道一の仕事人。まご 馬子やかごかき 駕籠鼻を頼みなければ、各宿場の問屋場で手配が可能です。居ながらにして物や情報を相手と交わしたい時は、ひきやく 飛脚が強い味方でした。「街道の華」と呼ぶに相応しい彼らの仕事っぷりをたんのう ご堪能ください。

月明りの下、松並木の街道に行き交う人々を描く。左手から駆け抜ける2人組は、幕府の公用で雇われたつぎひきやく 「継飛脚」。継飛脚は昼夜を問わず走り、伴走する者が「御用」と書かれた高張提灯を持っていた。ゆったりと右手からのりかけうま 歩く乗掛馬(明荷を両側に付けて上に1人乗る馬)の一行と、対象的である。



行書東海道
東海道五十三次之内 赤阪

渡す

水辺のプロ



旅路において難所のひとつは川。舟に乗るのですらドキドキしますが、当時は橋も舟もない川がいくつもありました。不安な旅人を支えたのが、「船頭」や「川越人足」ら川や海の男たち。頼もしき彼らの背中や筋肉、精悍な表情にもご注目ください。

見附から浜松へは、長野の諏訪湖を水源とする天竜川を越えねばならない。本図は天竜川の渡し舟を生き生きと捉える。舳先に立つ船頭の背中は凛々しく、流れに負けじと川底に棹をさしている。もう一隻には本馬(荷物のみを運ぶ馬)が乗り、船頭の表情も真剣そのものである。

人物東海道 五十三次 見附

泊める

珠玉のひとつときを

街道のオアシスは、なんといっても宿場が筆頭。本陣、脇本陣、旅籠などの宿泊施設でくつろげば、旅の疲れも吹き飛ばすはず。温かな食事と手足が伸ばせる布団がある幸福感は、明日の旅の活力になります。さあさあ、御履き物をお脱ぎください。



関宿には、「関で泊まるなら鶴屋か玉屋 まだも泊まるなら会津屋か」と謡われた大旅籠があった。

本図は関宿にある旅籠の店先を描く。壁に講の名を記した「講札」、行灯にも「諸国商人衆定宿」とあり、安心して泊まれる宿と分かる。到着して足を洗う旅人や、にこやかに対応する番頭、高齢の留女が客の袖を引く様子など、活況が伝わってくる。

行書東海道

東海道五十三次之内

関 旅籠屋見世之図

守る

鉄壁のセキュリティー

幕府は街道を整備して物流を活発化させた一方、江戸を守るために全国50か所あまりに関所を設けました。役人が特に取り締まったのは、武器を持って江戸に入る「入り鉄砲」と大名の婦女が江戸の外へ出る「出女」。ほら、女性の変装を厳しく確認する「改め婆」も目を光らせていますよ。



双筆五十三次

荒井 遠湖堀江風景

東海道には箱根と新居の2カ所に関所があり、特に新居の関所では謀反に繋がる「入り鉄砲」と「出女」に目を光らせていた。

本図は、関所の通行人を確認する「改め婆(人見女)」を描く。少年が着物をたくし上げ、老婆が眼鏡で股間をじっと見つめる。変装した女性かと疑わしい場合は、乳房や股間まで厳しく調べられたという。

思い出や笑顔になる逸品を

伊勢詣など信仰による旅が盛んになったとはいえ、費用もかかるため庶民が気軽に行けたわけではありません。

「お土産」の習慣は、そんな江戸時代から始まったとか。その土地ならではの逸品は、手にした人を笑顔にする魔法を秘めています。帰りを待つ大切な人に、旅の思い出とともに一品いかがですか？

原から蒲原にかけては、富士の絶景のほか、鰻の蒲焼や白酒などが名物として知られていた。富士川の水とそこで育つ良質な米から造られた「富士の白酒」は、旅人の喉を大いに喜ばせたという。

本図は、原と吉原の間にある柏原の立場を描く。白酒売の行商姿の女性は、歌舞伎で三世瀬川菊之丞が演じた「春昔由縁英」の女白酒売を思わせる。

雙筆五十三次 はら 柏原立バ



旅の人、お疲れ様です

今も昔も、旅には癒しが欠かせません。疲れた身体を按摩に委ね、絶景の茶屋で仲間と語らえば、ゆったりとした時間が過ごせます。船旅が退屈な時は、煮売り舟から軽く食べ物を買うのもまた一興。さあ、極楽の入口はすぐそこです。

関から坂下へ向かう途中、鈴鹿山脈の一角に筆捨山(標高287m)がある。本図はその筆捨山を望める茶屋を描く。茶屋は鈴鹿川を挟んだ対岸にあり、絶景を売りにしていた。床几に座り疲れを癒しつつ煙草で一服する人、筆を手にする人など、各々が絶景を堪能している。感嘆する客の様子に、茶屋の亭主の頬も思わず緩んでいる。



行書東海道

東海道五十三次之内 坂の下 筆捨山眺望

プライズレスのぬくもり

思わぬ出来事や困難でも、「施しが徳を積む」、「困った時はお互い様」と助け合えば百人力。難所を越えた喜びや、壮大な景色に身を任せた感動も、人と分かち合ってこそ。こうした人情は、旅を楽しくあたたかな記憶として彩ります。仕事ではないけれど、まさに「Good Job!」と声を掛けたくなる場面がそこにあります。



遠州灘が見渡せる浜松の街道脇を描く。灰色の冬空の下、男たちが焚火を囲み暖をとる。焚火から勢よく煙が上がり、通りかかりの旅人も煙草に火を貰っている。居合わせた縁から、感謝や労いなど、寒さを一瞬忘れるようなあたたかな言葉を、互いに交わしているようだ。

葛吉版東海道

東海道 廿九 五十三次之内 濱松

貨幣展示室より
お知らせ

新しいお札

日本銀行券のデザイン刷新

日本銀行券は、最先端の偽造防止技術を融合した新しい銀行券に代わります。

■新一万円券

※新札の館内での展示は7月中旬以降を予定しています



表（肖像）：渋沢栄一

生涯に約500もの企業の設立等に関わったといわれ、実業界で活躍。

裏：東京駅（丸の内駅舎）

「赤レンガ駅舎」として親しまれた歴史的建造物、重要文化財

■新五千円券



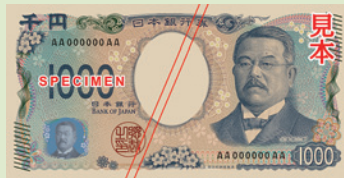
表（肖像）：津田梅子

女子英学塾（現 津田塾大学）を創立するなど、近代的な女子教育に尽力。

裏：フジ（藤）

古事記や万葉集にも登場し、古くから広く親しまれている花

■新千円券



表（肖像）：北里柴三郎

破傷風血清療法の確立、ペスト菌の発見。伝染病研究所、北里研究所を創立し、後進の育成にも尽力。

裏：富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」

江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の代表作で知名度も世界の芸術家に影響を与えた作品。

国立印刷局 HP より



次回も
お楽しみに！

江戸デート♥大作戦

— 浮世絵でめぐるモデルコース

2024 8.14 [水] ▶ 11.10 [日]

季節の花を愛でたいし、流行りのスイーツやグルメも堪能したい。最後はとっておきの絶景を眺めて一。好き合うふたりは、どこで何をしても楽しいものです。

時は江戸時代、身分違いの結婚は許されぬどころか、婚前に白屋堂々とふたりきりなど夢のまた夢。恋仲の忍び逢いやお見合いの舞台は、寺社や茶屋などが定番だったとか。一方、江戸の町には庶民の娯楽が溢れ、素敵スポットが盛りだくさんでした。花見や舟遊び、隅田川の花火に憧れの料亭など、江戸の町をデート気分ですりませんか？



貨幣・浮世絵ミュージアム
MONEY & UKIYO-E MUSEUM

052-300-8686 担当：鏡味・那須

ご案内

- 開館時間 | 9:00~16:00 (入館は15:30まで)
 - 休館日 | 祝日(7/15)
 - 入館料 | 無料 (団体見学の方は事前にご連絡ください)
- 〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24 三菱UFJ銀行名古屋ビル1階
052-300-8686 <https://www.bk.mufg.jp>

